

代表質問

3月定例会では、会派を代表する4人の議員が、新年度の予算などについて「代表質問」を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介いたします。
★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ

諸伏 清児 議員

時代の潮流を捉えて

■施政方針から

問 令和7年度の予算編成において、一般会計では2年連続で1千億円を超える過去最大規模の予算編成となった。大型予算に市民はどのような期待をされているのか伺う。

市長 7年度の予算では、上昇基調が続く市税を積極的に市民に還元するため、総合計画を着実に推進するとともに、昨年策定した「あつたかひらつか」のスローガンのもと「住みたい」「住み続けたい」「住んでいてよかった」と思っ

てもらえるまちづくりを力強く推し進める予算として編成した。

問 中学校体育館へのエアコン設置について、当初予算に計上されており、大きな一歩を踏み出したと考えている。我が会派としても近年の夏場における暑さ対

策や、災害時の避難所における環境整備を踏まえ、これまで要望してきた。今回の大野中学校・中原中学校・大住中学校の体育館へのエアコン設置の取り組み内容について伺う。

市長 建築年数が古く、面積が異なる3校の中学校体育館へ試行的に設置する。供用開始予定は8年7月であり、授業や部活動における暑さ対策として、良好な教育環境を確保するとともに、避難所としての環境改

善を図る。

■消防のDX

問 119番の通報者がスマートフォンを使い現場の状況を映像で伝え、送られた映像を指令センターが確認し、指示を出すことが可能であるシステム「Live119」は、令和6年10月から試験運用され、7年度から本格導入となるが、試験運用からの取り組みについて伺う。

消防長 7年1月末時点で

218件の試験を行い、そのうち162件の映像などの共有に成功した。これにより救急通報では、応急手当などの口頭指導をより正確に伝えることができたほか、火災通報なども災害状況をいち早く把握し、出動部隊への情報提供が迅速に行えたことで、実効性の高い消防救急活動が可能となった。



Live119 (イメージ図)

■能登半島地震を踏まえて

問 令和6年3月議会において、井戸水の活用について質疑した。井戸の使い道については、今後の研究課題とするという答弁であったが、6年度において取り組みを伺う。

防災・危機管理監 市内の事業者が設置をした井戸から、災害時に井戸水を提供してもらえらる。災害時に井戸水を提供してもらえらる協定を1件結ぶことができた。また市内の寺院を対象に災害時の協力井戸としての登録を依頼したところ、4寺院に登録してもらえた。

問 井戸水の活用については、国がハザードマップに明記する指針を作るが、そのようになれば災害井戸の取り組みは広がるか考える。本市の今後の考え方について伺う。

防災・危機管理監 現在、国が災害時を想定して、井戸水や地下水の活用を推進しているが、運用の指針は策定中である。地下水の活用は大変重要だと考えているが、国が策定した内容の詳細をよく確認したいと考えている。

公明ひらつか

上野 仁志 議員

未来を拓く確かな市政を

■市長に問う

■予算編成

問 落合市政の成果と意思を令和7年度予算にどう反映したのか伺う。

市長 当初予算は、好調な税収が下支えとなり、1千億円を超える過去最大の予算規模となった。これはツインシティ大神地区の整備や本社機能の誘致など、これまでの施策が実を結んだものである。今後は、しっかりと市民に還元していく

ことが私の責務であると考えている。当初予算は、子どもを育む環境づくりや、海岸エリアの魅力アップ、防災対策の強化などを強く推し進める編成とした。

■地域活性化

問 賃上げ応援奨励金の評価と今後の見解を伺う。

市長 中小企業の賃上げを後押しするために創設した賃上げ応援奨励金は製造業、建設業、運送業など幅広い事業者から申請があり、中小企業の人材の流出防止や従業員のモチベー

ション向上などにつながったものと考えている。令和7年度も中小企業の賃上げを後押しし、国などの制度とも連動して実施する。

問 個人事業主へ向けた周知について伺う。

産業振興部長 中小企業は6年度3パーセント以上の賃上げで10人以上雇用している事業者を対象にスタートし、途中で賃上げ率を2パーセントに引き下げたが、7年度は国の制度に合わせて1・5パーセント以上の賃上げで、5人以上雇用している事業者を支援する予定である。個人事業主も賃上げ促進税制の対象になっていることをしっかりと周知していきたいと考えて

ている。

問 空店舗の活用案としてリノベーションスクールによる活用について伺う。

市長 リノベーションスクールは、空き店舗や空き家を対象に、エリア再生のためのビジネスプランを作り出す短期集中の実践型スクールとして開催されている。都市部での開催事例もあり、本市は新設したフェスタロードへのオフィス開設支援の考え方と近い部分もあり、取り組み自治体への視察などを実施し、研究していく。

■担い手支援

問 エssenシャルワーカーの担い手不足に対する

■災害対策

問 スフィア基準に照らした避難所における女性の視点や支援の充実に対する考えを伺う。

市長 スフィア基準は、被

■教育長に問う

■体育館のエアコン

問 中学校3校の設置スケジュールと設置の考えを伺う。

教育長 令和7年度に入札・契約後、事業者による設計・施工を経て、8年7月の供用開始を予定してい

る。市内全体の小中学校への設置については、今回の3校の試行設置の検証を踏まえて検討する。

問 体育館の断熱化を今回の工事でのように進めるのか伺う。

教育長 これまでの事例研究や視察などから、断熱改修を施さなくても空調の効果が見込めることが確認できたため、断熱改修は行わない予定である。

市議会ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧になれます。

